

I. <まず読みたい図書>

1) 全学生向きの図書

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
三四郎	夏目漱石	岩波文庫	岩波書店		○	081-195-G10-6		漱石が明治時代の大学生を描いた名作です。自分と比べて見るのも一興。
地獄変・偷盗	芥川龍之介	新潮文庫	新潮社		○	無	各作品は図書館所蔵の他の版で読むことができる。	何百もの小説を残した芥川。「羅生門」だけじゃ物足りない。
古語雑談	佐竹昭広	岩波新書	岩波書店	1986	○	081-195-Y350		「コゴザウタン」古語についての雑談。東京新聞に連載されたコラムをまとめたもの。
ことばと文化	鈴木孝夫	岩波新書	岩波書店	1973	○	081-195-B858		言語文化の成り立ちの一つの考え方が示されています。文学の研究も言葉と文化の関係について探究していくものです。高校の教科書にも採録されているので読みやすいです。
事典の語る日本の歴史	大隅和雄	講談社学術文庫	講談社	2008	○	081-Ko19-1878		
自由からの逃走	エーリッヒ・フロム	現代社会科学叢書	東京創元社	1965新版	○	146.1-F48	原書の初版は1941年	ほんとうの自由はこわい。人は無意識のうちにそこから逃れようとして、支配と被支配の関係が生まれる。壮年のフロムは絶望の中で、それでも人間に希望を見いだそうとする。
筑波大学新聞で読む筑波大学の40年	福原直樹, 伊藤純郎(編)		筑波大学出版会	2013	○	377.28-F75		『筑波大学新聞』の誌面分析を通じて、筑波大学40年の歴史を読み解いたもの。筑波大学の歴史を象徴する記事を100選び、当時の筑波大学新聞編集部長が解説。
筑波山から学ぶ:「とき」を想像・創造する	前川啓治(編)		筑波大学出版会	2015	○	291.31-Ma27		筑波山の歴史、民俗、経済、地域づくりについて、わかりやすく描いたもの。社会連携プロジェクト「筑波山ルネサンス」の研究成果。
破壊と再生の歴史・人類学:自然・災害・戦争の記憶から学ぶ	伊藤純郎・山澤学(編)		筑波大学出版会	2016	○	204-I89	著者:編者および滝沢誠・中西僚太郎・木村周平・村上宏昭・佐藤千登勢・中野泰・武井基晃	変革期に出現した「破壊」と「再生」を検証し、グローバルな現代文明を生きる我々に課されている諸問題を考える手がかりを探る。大学院歴史・人類学専攻の共同研究成果。
中国はここにある 貧しき人々のむれ	梁鴻著、鈴木将久ほか訳		みすず書房	2018	○	926-R96		中国河南省を舞台にした文学作品 現代中国の農村の実情を知るには必読の書
文化のハイブリディティ	ピーター・パーク	サピエンティア26	法政大学出版局	2012	○	361.5-B92		さまざまな文化が日常的に出会って異種混濁を起こすことに注目して、民衆文化史の立場から世界各地の事例とそれを解釈するのに有効な理論を述べた書である。
茶の本	岡倉覚三(天心)(村岡博訳)	岩波文庫 B115	岩波書店	1961	○	中央081-195-B115	田中仙堂『岡倉天心「茶の本」をよむ』(講談社学術文庫 2017)がわかりやす	1906年(明治39)にボストン美術館東洋部門の責任者であった岡倉天心(覚三)が英文で書いた、茶の湯に限らず日本文化論とも言うべき名著。西洋人の日本理解に現代でも影響を与えている
ALSを生きる:いつでも夢を追いかけていた	谷川彰英		東京書籍	2020	○	無		ALS(筋萎縮性側索硬化症)という難病を宣告された著者(元筑波大学副学長)が、宣告までの経緯と自身の人生を振り返りつつ、「新たな夢」の実現に向かって記した「希望の書」。
日本の歴史を解きほぐす:地域資料からの探求	地方史研究協議会編	シリーズ地方史はおもしろい 01	文学通信	2020	○	無		各地に残る地域資料から日本史を読み解く入門書。地域資料の豊富さ、それらを読み解く多様な視点、そして地域の歴史を知ることのおもしろさを伝える。
二千日回峰行 大阿闍梨酒井雄哉の世界	菊池東太, 野木昭輔		佼成出版社	2007	○	188.4-Sa29(体芸)		日本でもっとも厳しい修行のひとつ、千日回峰行を2回達成した修行者の人生にせまる。
レイテ戦記(上・中・下)	大岡昇平	中公文庫	中央公論社	1974	○	916-オ(図情)		太平洋戦争末期、戦局の転換点となったフィリピンレイテ島での激戦を描くノンフィクション。膨大な資料を駆使した戦況分析が優れるだけでなく、個々の局面での軍人の判断に対して付された著者の評価が鋭く、また人間的である。

数量化革命	A・クロスビー		紀伊國屋	2003	○	230.4-C93		なぜ西欧の「科学」が世界を席捲したのか、中世後期に進行した数量化を手掛かりに論じる。
文明の中の科学	村上陽一郎		青土社	1994	○	404-Mu43		知識史の基本図書。「科学」の誕生から、今日の問題点、あたらしい知識史の構築まで。
知識人とは何か	エドワード・W・サイード	平凡社ライブラリー	平凡社	1998	○	361.84-Sa17		「とにかく迎合するまえに批判せよ」—アマチュアとしての知識人についてサイードの該博な知識で語り尽くす講演録。
日本仏教史：思想史としてのアプローチ	末木文美士	新潮文庫	新潮社	1996	○	182.1-Su16		仏教が日本にいかんして受容されたのか、思想史の観点から鮮やかに概括する。教養として必読。
古典学入門	池田亀鑑	岩波文庫	岩波書店	1991	○	081-I95-B184-1		古典と向き合い、文献はいかに読むべきか、基本姿勢を平易に説き明かす入門書。
大発見：未知に挑んだ人間の歴史	D・ブラスティン		集英社	1988	○	209-B64		一般向け知識史。
旧約聖書		聖書協会訳ほか諸訳有り			○	193-Se19		ドイツ文化・文学に限らず、西洋を勉強しようとしたら必須。まず創世記以下列王記までを読もう。
新約聖書		聖書協会訳ほか諸訳有り			○	193.5-Sh69		ドイツ文化・文学に限らず、西洋を勉強しようとしたら必須。特にマルコ福音書とヨハネ福音書は重要。
ギリシャ神話	アポロドーロス	岩波文庫ほか	岩波書店ほか	1978	○	081-I95-R110-1		さまざまな文学や芸術作品に使われる題材の源泉。
歴史学ってなんだ？	小田中直樹	PHP新書	PHP研究所	2004	○	201-O17		初学者向けで、古典的名著というほどではないかもしれませんが、現代社会における歴史学の意義を悩みながら模索する姿に、同じ歴史学者（でありたいと思う者）として共感。
デパートを発明した夫婦	鹿島 茂	講談社現代新書	講談社	1991	○	081-Ko19-1076		19世紀フランスをめぐる「近代文化」形成についての具体的・実証的な研究。読んで面白い。同じ著者の『新聞王ジラルダン』（ちくま文庫）、文学好きには『馬車を買いたい！』（白水社）もお薦め。
世界の歴史(全30巻)		中公文庫	中央公論新社	1997	○	209-Se22		一般教養
哲学の歴史(全13巻)			中央公論新社	2008	○	130.2-Te86		一般教養
仏教入門	高崎直道		東京大学出版会	1983	○	180-Ta52		古典的名著
サンスクリット文法	辻直四郎	岩波全書	岩波書店	1974	On demand	829.8-Ts41		印欧語文法の粹
貧者の息子—カピリーの教師メンラド	ムルド・フェラウン	叢書《エル・アトラス》	水声社	2016	○	953.9-F21	青柳悦子 翻訳	20世紀が生んだ文学として、専門を問わずじっくり読んでほしい一書。
生活の貧しさと心の貧しさ	大塚久雄		みすず書房	1978	○	304-O88		本書で大塚が言う「形式的合理性」をキーワードとして、みなさんが置かれている現代の様々な社会状況を考えてみて下さい。
歴史とは何か	E. H. カー	岩波文庫	岩波書店	1962	○	081-I95-B447		史学概論などの講義でよく取り上げられてきた歴史学の入門書。暗記ではなく、考える対象として歴史を学ぶために必読です。
勉強の哲学	千葉雅也		文芸春秋	2017	○	020-C42		なぜ大学で学ぶのか？学ぶとはどういうことなのか？学ぶとキモくなる？目からウロコ間違いなし。
中国化する日本：日中「文明の衝突」：千年史(増補版)	與那覇潤	文春文庫	文芸春秋	2014	○	210.18-Y82		軽快な文章、読めば目からボロボロろこが落ちる。高校での「勉強」から、大学での「学問」への転換点として。
知的生産の技術	梅棹忠夫	岩波新書	岩波書店	1969	○	081-I95-B722		知的生産を技術と位置づけた古典。今読んでも役立つ。
大学生のための知的技法入門—アカデミック・スキルズ(第2版)	佐藤 望ほか		慶應義塾大学出版会	2012	○	377.15-Sa85		受験勉強とは違う、大学での学習で、自分の知的基盤を作っていく、そのスタートのために。授業を聞く、ノートをとる、本を読む、レポートを書く、それらの作法を学ぶ。

「聴く」ことへの力: 臨床哲学試論	鷲田 清一	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2015	○	104-W42		「聴く」という受動的経験がはらむ圧倒的に能動的な営みを、様々な事例を通じて解き明かす本書は、きっとあなたの世界観そのものをさまざまに刷新してくれるはず。
映画館と観客の文化史	加藤 幹郎	中公新書	中央公論新社	2006	○	081-C64-1854		比較文化学類卒業生でもある、日本におけるアカデミックな映画研究分野の第一人者による文化史的映画研究。わかりやすいと評判のベストセラー。
アンチ・オイディプス	ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ	河出文庫	河出書房新社	2006	○	135.5-D55	図書館には単行本で所蔵	ドゥルーズ＝ガタリの共同作業による、現代思想の最重要作の一つ。「資本主義と分裂症」という観点から、哲学、精神分析、社会、歴史、芸術を縦横に論じる。とりわけ現代社会に関心のある人に。
千のプラトール	ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ	河出文庫	河出書房新社	2010	○	135.5-D55	図書館には単行本で所蔵	ドゥルーズ＝ガタリの共同作業による、現代思想の最重要作の一つ。「資本主義と分裂症」という観点から、哲学、精神分析、社会、歴史、芸術を縦横に論じる。とりわけ芸術に関心のある人に。
〈帝国〉: グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性	アントニオ・ネグリ、マイケル・ハート		以文社	2003	○	311-N62		グローバル化した世界と、グローバル資本、戦争国家への対抗運動について考えたい人へ。『〈帝国〉』に加えて、『マルチチュード』(上・下)、『コモンウェルス』(上・下)(いずれもNHKブックス、図書館に所蔵)の三部作全体を読んでほしい。
フロイト全集	ジークムント・フロイト		岩波書店	2007～2011	○	146.13-F92-1～22		フロイトの提唱した精神分析理論は、20世紀以降の文化や芸術を理解する上で不可欠。芸術論や『狼男』などの症例から読み始めるとよいかも。
モーツァルトの手紙、その生涯のロマン	モーツァルト	岩波文庫	岩波書店	1981	○	081-195	図書館にはいろいろな版が揃っています	一八世紀におけるヨーロッパの文化を知るうえでも、モーツァルトというひとりの天才の創造と孤独、苦悩を知る上でも素晴らしい作品。
砂漠の思想	安部公房	講談社文芸文庫(現代日本のエッセイ)	講談社	1993	○	081-Ko19-A		砂漠的で複眼的な思考のダイナミズムとエッセンスに触れることができる。
変身物語(上・下)	オウィディウス	岩波文庫	岩波書店	1981, 1984	○	081-I95-R120-1・2		ギリシャ・ローマ神話中の変身エピソードの数々。読みやすい西洋文学・音楽・美術などの基礎。
土方巽全集 新装版(全2巻)	土方巽		河出書房新社	2016	○	769.1-H56-1・2(体芸)		「暗黒舞踏」の名の下、アヴァンギャルドや叛乱の舞踏家とされていた土方の言葉は、現代の身体論とも響き合い、刺激を与えてくれる。
眼の隠喩: 視線の現象学	多木浩二	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2008	○	無	図書館は青土社版(1982, 2002)を所蔵704-Ta71	「もの」を「見る」とはどのようなことか、写真、建築、家具、文学、哲学、芸術など私たちをとりまく様々な表現物から考察した書。言語化できない知覚を通して世界に住みこみ、またその世界を表していく人間の営みに迫る。
フーコー文学講義 一大いなる異邦のもの	ミシェル・フーコー	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2021	○			哲学者フーコーの文学論。歴史に位置しながら真理に属する文学創造のあり方について、狂気と言語、欲望と真理といったテーマ系を中心に、シェイクスピアやサド、アルトールなどを論じた書。
言語起源論	ヨハン・ゴットフリート・ヘルダー(宮谷尚実訳)		講談社学術文庫	2017	○	081-Ko19-2457		人間にとって言葉とはどのようなものなのか。この問いをめぐる人間形成の問題と関連づけて論じた著作。
メディアと異界(遠くにあるもの) —「心眼」と「存在の奥行」を取り戻すための「情報学」	仲田誠		砂書房	2008	○	007.3-N31		現代という「輝かない」時代をかえていく手がかりはなにか。いま必要なのは、「隠れたもの」、「遠いもの」、「不在」について考える情報学・メディア論である。
メディア・コミュニケーション論〈1〉	竹内 郁郎, 橋元良明, 児島 和人		北樹出版	2005	○	無		豪華執筆陣によるメディア論。最先端の研究を基に具体的に即し、分かりやすくコンパクトに解説した充実の書。
メディア・コミュニケーション論〈2〉	竹内 郁郎, 橋元良明, 児島 和人		北樹出版	2005	○	361.45-Ta67-2		日々刻々と進化・変化しているわれわれを取り巻くメディア環境。豪華執筆陣により、膨張を続けるメディアの全体像を捉え、メディアとは何か?を問う。
知のユーラシア(I～V)	堀池信夫	シリーズ知のユーラシア	明治書院	2013～2014	○	120.2-C47-1, 2, 3, 4, 5		東洋～中東～西洋をつらぬいて流動・交錯する「知」の世界!学会の枠を超え第一線の研究者たちが贈る大学1・2年生向けシリーズ!

リキッド・モダニティ	ジークムント・バウマン		大月書店	2013	○	361-B28		現代社会の状況を捉えるための必読書
比較宗教学の誕生	F・マックス・ミュラー		国書刊行会	2014	○	161.04-Sh99-2		近代宗教学の創始者と呼ばれるマックス・ミュラーの著書
2) 領域・コースの学習に関する図書								
日本文学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
ちくま日本文学全集全40巻	池内紀ほか(編)	ちくま日本文学全集	筑摩書房	2008	○	918.6-C44(ただし旧版)		日本文学の代表的作家40人をピックアップし、一人一冊に代表作をおさめたもの。気になる作家をあらたに見つけてみてください。
源氏物語(1~6)	紫式部(著)・阿部 秋生ほか(校注・訳)	新編日本古典文学全集	小学館	1994	○	918-N77-20~25		
制度通(上・下)	伊藤東涯		岩波書店(岩波文庫)	1944	×	081-I95-B43		『日本随筆大成』とあわせて手にとるとよい。
西鶴が語る江戸のミステリー・ラブストーリー	西鶴研究会		ペリカン社	2004・2006	○	913.52-I25・913.52-I25		
中国文学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
中国文学における孤独感	斯波六郎	岩波文庫	岩波書店	1990	×	081-I95-B180-1	1946年の広島講演が濫觴	人は、孤独だからこそ理解しあえる。孤独から逃げれば対立し争いが生まれる。中国の詩文を並べては考え、「孤独」という言葉の由来から、杜甫・李白にいたる孤独をみつめる。
数の文学	鈴木修次		東京書籍	1983	×	920.4-Su96		1から9までのそれぞれの数がまとわせるイメージについて、中国・日本・インドの文化的伝統を踏まえて説明する。読んでいるうちに、数字が文学的なものにみえてくる。
中国の自伝文学	川合康三	中国学芸叢書	創文社	1996	×	920.2-Ka93		前近代の中国には自伝文学は存在しなかったとされていたが、西欧的自伝の型とは根本的に違う自伝が確かに存在していたとして、その特徴を詩文の分析により浮き彫りにする。
中国の知恵: 孔子について	吉川幸次郎	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2012	kindle○	×	吉川幸次郎全集第5巻所収。中央920.8-Y89-5新潮社1954年版を所蔵。図情保存庫124.12-Y89	「愛情は、学問と知識とによってつちかわれた思慮を伴うことによってのみ、完成する」と信じる著者が、『論語』に流れる「ふてぶてしいまでの人間肯定の精神」を読み解く。
漢詩への招待	石川忠久	文春文庫	文藝春秋	2005	○	×	新樹社 1987年版を所蔵。中央 921-I76	日本人は中国の詩を「漢詩」と呼んで愛好してきた。本書の著者は自らも漢詩人である。詩情の宝庫である漢詩から時代順に名作を取り出し、リズムカルに和訳し簡潔に紹介する。

漢詩:美の在りか	松浦友久	岩波新書	岩波書店	2002	×	081-I95-R768ほか所蔵		「誰が」「何を」「いかに」に重点をおいた鑑賞・解説、「詩跡」(歌枕)の認定、日本語の「文語自由詩」としての「訓読漢詩」、という視点から漢詩の魅力と生命力を読み解く。
日本研究コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
フィールドワーク 茨城県の戦争遺跡:学び・調べ・考えよう	伊藤純郎(編)		平和文化	2008	○	213.1-I89		アジア・太平洋戦争期に茨城県域に建設された海軍航空隊・陸軍飛行場、満蒙開拓青少年義勇軍訓練所、風船爆弾放流大津基地など「戦争遺跡」を平易にまとめたもの。
つくられた桂離宮神話	井上章一	講談社学術文庫:1264	講談社	1997	○	081-Ko19-1264	初出は弘文堂(1986)刊	「日本美の象徴」として著名な桂離宮を美しいとは思えない、と著者は言う。桂離宮をめぐる常識を解体する本書は、学問・研究とは何かを考えさせられる一冊です。
日本人論:明治から今日まで	南博		岩波書店	1994	×	361.42-Mi37	岩波現代文庫:学術157にも収録	日本人とは何か。日本とは何か。グローバルな現代において、日本研究に不可欠な、これらの疑問を解き明かす手がかりを知ることが
忘れられた日本人	宮本常一	岩波文庫:青(33)164-1	岩波書店	1984	○	081-I95	『宮本常一著作集』10にも収録	柳田国男と並び立つ民俗学者宮本常一が、古老たち自身の語るライフヒストリーをまとめた一冊。文字に描かれない歴史や生活文化を描くことの大切さを知ることができる。
満州分村の神話:大日向村は、こう描かれた	伊藤純郎	信毎選書 26	信濃毎日新聞社	2018	○	中央334.51-I89		最初に満州分村移民を実施した長野県南佐久郡大日向村が、雑誌・小説・新劇・映画・紙芝居といったメディアの中で、どのように称賛され、語られたのかを描く。
特攻隊の〈故郷〉:霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘	伊藤純郎	歴史文化ライブラリー 485	吉川弘文館	2019	○	中央210.75-I89		霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘などの訓練の地に刻まれた、敷島隊・万葉隊などの特別攻撃隊(航空機特攻隊)の原風景を探り、特攻隊の歴史的意義を問い直す。
満蒙開拓 青少年義勇軍物語:「鉄の戦士」の素顔	伊藤純郎	信毎選書 31	信濃毎日新聞社	2021	○	無		開拓と警備の使命を帯びて渡満した十代の満蒙開拓青少年義勇軍の世界を、「大陸の母」(保姆・寮姆)・「大陸の花嫁」(伴侶)といった女性の視点を絡めながら描く。
アジア研究コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
道教の経典を読む	増尾伸一郎,丸山宏(編)	アジアブックス 28	大修館書店	2001	○	166.3-Ma98		道教の主要な経典について、原文に基づきながらも、そのまま現代日本語で読めるように訳文を示し、わかりやすく道教の展開を紹介する目的で書かれた類例のない紹介書。
殺劫(シェーチャ)チベットの文化大革命	ツェリン・オーセル		集広舎/中国書店	2012	○	222.9-W83		辺境の地チベットで起きた文化大革命を発見された写真とドキュメントで綴った貴重な歴史の証言。
大地(1-4)	パール・バック	新潮文庫	新潮社	1953	○	無	図書館には岩波文庫版(081-I95-R320-1~4)他がある	宣教師の娘として中国で長く暮らした経験をもつパール・バックが描いた中国農民一家の物語。20世紀初めの中国農村の状況と農民生活が克明に記されている。ノーベル文学賞受賞。
仏教要語の基礎知識	水野弘元		春秋社	1972	○(新版)	180.3-Mi96		仏教教理を体系的かつ包括的に概観した古典的名著。
歴史のなかのカースト:近代インドの〈自画像〉	藤井毅	世界歴史選書	岩波書店	2003	○(オンデマンド版)	362.25-F57		近代に形成されたカースト概念の生成と発展について細大漏らさず描き出す。
イスラーム哲学の原像	井筒俊彦	岩波新書黄版	岩波書店	1980	○	081-I95-Y119		イブン・アラビーの存在一性論を軸としてイスラーム神秘主義の要諦を解き明かす。井筒の志向した「東洋哲学」の根幹を成す。

著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
現代フランス社会を知るための62章	三浦信孝, 西山教行(編)	エリア・スタディーズ:84	明石書店	2010	○	302.35-Mi67		各章数ページずつの構成で現代フランスの諸問題をわかりやすく解説。フランスに関する全般的な知識を得ることができ、参考文献リストからさらに詳しく読書を進めることもできる。
フランス文化55のキーワード	朝比奈美知子, 横山安由美(編)	世界文化シリーズ:2	ミネルヴァ書房	2011	○	235-A82		政治、経済、歴史から文学、美術、ファッション、食文化までフランス文化の多様な面を網羅。フランス文化の入門書として最適。
フランス文化読本:フランスを知るための16の窓	田村毅(監修), 鈴木雅生, 福島勲(編)		丸善出版	2014	○	293.5-Su96		ルーヴル美術館、ヴェルサイユ宮殿、エッフェル塔といった有名なモニュメントを出発点として、関連する歴史や文化事象について解説。
フランス文学案内 増補	渡辺一夫, 鈴木力衛	岩波文庫:別冊1	岩波書店	1990	○	081-I95		初版は1961年と古いながらも、フランス文学史の全体を満遍なく平易な語り口で解説した。フランス文学入門書としてお薦め。
欧米研究コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
カルメン	プロスペール・メリメ(工藤庸子訳)	新訳・世界の古典シリーズ	新書館	1997	○	無	他の訳ならば、いろいろ所蔵有	「情熱のスペイン」というイメージの形成に良くも悪くも大いに貢献した文学作品の一つです。スペイン人を情熱的だと思わない人も、そうしたイメージの存在は知ってください。
新ラテン文法	松平千秋, 国原吉之助		東洋出版	1992	○	892-Ma74		ラテン語文法の古典的名著
現代イタリア文法	坂本鉄男		白水社	1979	○	875-Sa32		イタリア語文法の古典的名著
ギリシア神話(上・下)	呉茂一	新潮文庫	新潮社	1979	○	162-K		古典的名著
聖書時代史・旧約篇	山我哲雄	岩波現代文庫	岩波書店	2003	○	193.02-Y21		簡潔・必携
イタリア文学史	西本晃二ほか		東京大学出版会	1985	○	970.2-I93		類書を見ない
文化人類学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
靈魂の民俗学	宮田登	洋泉社MC新書	洋泉社	2007	○	387-Mi84		人の一生をめぐる日本の民俗文化や、神・妖怪・祭りが如何に民俗学の研究課題たりえるのかを平易に説かれています。専門外の方でも一読する事をお勧めします。
中央アジアのイスラーム	濱田正美	世界史リブレット	山川出版社	2008	○	229.6-H22		1991年ソ連が解体して新たに誕生した中央アジア諸国の人々は、イスラーム教徒が多数を占めます。この地域の人々がどのようにイスラームを受け入れてきたのか、明快に描き出した一書です。
その日暮らしの人類学	小川さやか	光文社新書	光文社	2016	○	無		人類学の面白さを教えてくれる本。キャリア形成？就活？そうしないと生きていけない？いやいや、生きるってもっと自由なことだ。
うしろめたさの人類学	松村圭一郎		ミシマ社	2017	○	389-Ma82		僕たちがいま暮らしている社会に生きづらさを感じているのだとしたら、どうしたらいいのだろうか？人類学を手がかりに、身近なところを見直してみよう。

文化地理学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
東京の空間人類学	陣内秀信	ちくま学芸文庫	筑摩書房	1992	○	291.3-シ		東京の都市空間を、自然・人間の営みに着目して説明した都市論の基本書。
空間の経験—身体から都市へ	イーファー・トゥアン	ちくま学芸文庫	筑摩書房	1993	○	290.1-Tu1		人間と空間、場所とのかかわりを論じた書籍。トポフィリアと合わせて読んでほしい。
場所の現象学—没場所性を越えて	エドワード・レルフ	ちくま学芸文庫	筑摩書房	1999	○	290.13-R25		人間にとって意味を持つ空間である場所。「没場所性」という概念を用いることで人間と空間の関わりを説明した書籍。
都市のイメージ・新装版	著 丹下健三・富田玲子		岩波書店	2007	○	518.8-L99		都市がどのように人間に認識されているのかを検証した都市論の基本書。
地理学を学ぶ	竹内啓一・正井泰夫		古今書院	1986	○	290.12-Ta67		地理学の巨人たちが語る地理学者としての歩みや地理学を志す人への助言がインタビュー形式でまとめられている。地理学への誘い
続・地理学を学ぶ	竹内啓一・正井泰夫		古今書院	1999	○	290.12-Ta67		前掲書の続編。
文化地理学ガイダンス:あたりまえを読み解く三段活用	中川正ほか		ナカニシヤ出版	2006	○	290.1-N32		文化地理学の範囲の広さと面白い着眼点を知るために
The human mosaic : a cultural approach to human geography 12th edition	Mona Domosh ほか		W.H. Freeman	2011	○	290.14-J75	過去の版も多数所蔵されている	北米における文化地理学教科書代表。分かりやすい説明、明瞭な体系性、美しい写真。
テキスト文化学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
ペンと剣	エドワード・W・サイード	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2005	○	無		ポストコロニアル批評を切り開いた一人、サイードのインタビュー集です。サイードの思想がよくわかる、優れた入門書として読むことも
高慢と偏見とゾンビ	セス・ウィリアム・スミス	二見文庫 ザ・ミステリ・コレクション	二見書房	2010	○	933.9-A96		恋愛ものとしてぜひ押さえておきたいオースティン『傲慢と偏見』ですが、いきなり原作に挑むのが敷居がたかければ、リライトの『高慢と偏見とゾンビ』からでいかが？
世界の読者に伝えるということ	河野 至恩	講談社現代新書	講談社	2014	○	081-Ko19-2255		比較文学の視点のひとつを学ぶことのできる、手にとりやすい入門書。
記憶／物語	岡 真理	思考のフロンティア	岩波書店	2000	○	141.34-O36		人は圧倒的な痛みを記憶を抱えて生きる。アラブ現代文学の専門家である気鋭の著者が、文学=物語の存在価値を訴えながら、あなたの問題意識を目覚めさせる。他の著作もぜひ読んでください。
文化創造論コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
監獄の誕生	ミシェル・フーコー		新潮社	1977	○	135.5-F42		近代社会を「規律権力」という観点から論じた、フーコーの代表作。その後の社会理論、権力理論に大きな影響を与えた、現代思想の最重要書の一つ。
残存するイメージ:アヴィ・ヴァールブルクによる美術史と幽霊たちの時間	ジョルジュ・ディディ・ユベルマン		人文書院	2005	○	702-01		時系列的でありきたりの美術史ではなく、記憶と創造の弁償的運動をとおして「イメージ」の本質を捉えようとする画期的な研究。

映画術:ヒッチコック	アルフレッド・ヒッチコック, フランソワ・トリュフォー		晶文社	1990	○	778-233		ヒッチコックを知らなくても十分面白い、映画の本質やその醍醐味を知ることができる最良の映画入門書。
映像の詩学	蓮實重彦	ちくま学芸文庫	筑摩書房	1979	○	778.23-H39	図書館には単行本で所蔵	ハリウッド古典からB級アクション、70年代ヨーロッパ映画までを縦横に論じた、映画論の名著。
アコーディオンの罪	E・アニー・ブルー		集英社	2000	○	無		主人公は、シチリアからの移民がニューオーリンズで作ったアコーディオン。約1世紀をかけて様々な民族の音楽を奏でながらアメリカ中を
先端文化学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
明るい部屋	ロラン・バルト		みすず書房	1985	○	740.1-B25		ロラン・バルトの最後の著作にして、写真論の古典的名著。写真のイメージは、不在を實在に変えてくれる。本書がイメージから想起させる悲しみは、温かな存在論をもたらしてくれる。
人間の条件	ハンナ・アレント		筑摩書房	1994	○	311.1-A68		本書は私たちが現代社会における個と公共性の問題について考える上でヒントを与えてくれる本である。
全体主義の起原1, 2, 3	ハナ・アレント		みすず書房	1,972	○	中央311.8-A68		いかにして全体主義は形成されたのか、その固有の本質は何であったのかを探求したアレントの名著
想起の空間: 文化的記憶の形態と変遷	アライダ・アスマン		水声社	2007	○	944.9-A93		個人や集団における記憶・忘却・想起の働きが文化形成とどのように関わるかについて、イメージやメディアの問題と関連づけて論じてあり、文化記憶論を学ぶ上で参考になる。
レンズが撮らえた19世紀ヨーロッパ	海野弘ほか		山川出版社	2010	○	無		ヨーロッパの1851年~1918年までの激動の時代の実像を写真で伝える。王室の興亡、都市の変貌、モードの演劇性。多角的にヨーロッパの文化を知るうえで貴重な一冊である。
ラインズ: 線の文化史	ティム・インゴルド		左右社	2014	○	389-I54		線についての比較人類学。人間、動物、植物・生活の営みのなかが残す線によって織られていく織物として世界を捉え直し、現代のネットワーク社会を問い直している。
フーコー・コレクション(全6巻)	ミシェル・フーコー	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2006	○	135.57-F42-1~6		権力論で知られるフーコーの全貌を概観できるコレクション。興味のあるものから読むとよい。とくに初期の文学論や晩年の「自己のケア」の問題がアクチュアル。
情報文化学コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
世界は常識と想像力でできている—あるべきことの情報学	仲田誠		砂書房	2003/03	○	007.3-N31		電車の中で平気で化粧をする女の子。一触即発の国へ観光旅行で行っちゃおう若者。目の前にあることしか見ない現代にあって、あるべき形を求めることが急務だ。瀕死の日本社会を救うカルテは。
読んでいない本について堂々と語る方法	ピエール・バイヤール	ちくま学芸文庫	筑摩書房	2008	○	019-B29		「内なる図書館」を作るための主体的読書法について書かれた必読書。
メディアの権力: 勃興と富と苦悶と	デイヴィッド・ハルパースタム		東京: サイマル出版会	1983/5-1983/9	○	070.253-H21-1		メディアはいかにして「第四の権力」となったか。CBSテレビ、タイム誌、ワシントン・ポスト紙、LAタイムズ紙を柱に据え、これら四大メディア王朝の勃興と発展、渦巻く野心、政治権力との癒着と葛藤を、膨大な取材と卓越した筆力で描き出す。
言論統制	佐藤卓己		中公新書	2004	○	081-C64-1759		戦時下の言論統制の「主犯」とされていた陸軍軍人・鈴木庫三の思想と行動からその実像に迫り、戦後の「言論統制」の記憶がいかに形成されることになったかを解明する研究。
反戦のメディア史	福間良明		世界思想社	2006	○	361.47-F77		戦後の反戦映画を題材に、政治的平和主義と感情的平和主義が絡み合いながらいかにしてその時々の「世論」を作り上げたかを考察す

近代読者の成立	前田愛		有精堂	1973	△(岩波現代文庫で入手可)	910.26:Ma-26		日本の読書文化を江戸期から論じ、活字文化が浸透することによりいかなる人間像が生まれたかを解明した研究。
現代思想コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
カルチュラル・スタディーズ	吉見俊哉	思考のフロンティア	岩波書店	2000	○	361.5-Y91		カルチュラル・スタディーズに興味のある人へ。わかりやすい入門書です。
ナショナリズム	姜尚中	思考のフロンティア	岩波書店	2001	○	311.3-Ka43		ナショナリズム・国境・政治について興味のある人へ。
承認をめぐる病	斎藤環		日本評論社	2013	○	493.7-Sa25		精神分析のわかりやすい入門書。自分自身を振り返りましょう。
啓蒙とは何か	カント	光文社古典新訳文庫	光文社	2006	○	134.2-Ka59		「自分の頭で考える」とはどういうことなのか。平易で力強く、読むと勇気が出る本です。
寝ながら学べる構造主義	内田樹	文春新書	文藝春秋	2002	○	無		本言に寝ながら現代思想がわかる珍しい本。(私も寝ながら読みました)
ソクラテスの弁明・クリトン	プラトン	岩波文庫	岩波書店	1964	○	081-I95-B601-1		哲学の本なんて難しい・・・と思っている人に特に読んでほしい。自分が読めることにまず驚いて、そして内容に感動するはず。
他者性の時代	河上正秀編		世界思想社	2005	×	104-Ka94		とりあえず「生命倫理入門」を読んでください。高校時代に「倫理」を学んだ人にも、学んでいない人にも、現代に生きている人たちに。
星の王子さま	サン=テグジュペリ著、内藤濯訳		岩波書店	2000	○	953.9-Sa22	オリジナル版	「哲学」ってこういうことなんです。
意味という病	柄谷行人	講談社文芸文庫	講談社	1989	○	081-Ko19-カ		マクベスの分析から現代の問題をきれいに切り取っていく本。この本に多くを教えられました。
比較宗教コース								
著作名	著者・編者名	*シリーズ名など	出版社	西暦発行年	現在書店で入手が可能か(○または×)	筑波大学図書館での所蔵の有無、ある場合は配架番号	*その他の情報	紹介コメント(80字以内)
宗教学入門	棚次正和, 山中弘		ミネルヴァ書房	2005	○	161-Ta85		宗教学とはどのような学問かを知る上での基本的参考書
世界は宗教とこうしてつきあっている	山中弘, 藤原聖子(編)		弘文堂	2013	○	162-Y34		宗教リテラシーを増すための必読書
日本人はなぜ無宗教なのか	阿満利磨	ちくま新書	筑摩書房	1996	○	080-C44-85(図情)		日本人の宗教観を考えるための必読書
イスラームとは何か	小杉泰	講談社現代新書	講談社	1994	○	081-Ko19-1210		現代社会に大きな影響力をもっているイスラームを知るための基本図書
宗教現象学入門	華園 聰磨		平凡社	2016	○	161-H28		エリアーデらに始まる宗教研究の重要な1つの流れを概説したものの。宗教そのものへの志向を核とする。
聖と俗	E・エリアーデ		法政大学出版局	2014年新装版	○	161.1-E46		宗教学の1つの重要な概念である、聖と俗について、宗教現象学の立場から論じた古典
聖なるもの	R・オットー		岩波書店		○	081-I95-B811-1		宗教経験を人間と絶対他者との経験として解釈した古典